

## 赤ちゃんと家族のために 今知っておくこと、そして一緒に考えること

～周産期研修会を開催しました～



35歳以上の高年妊娠や不妊治療を経ての妊娠が増加している中、「元氣な赤ちゃんを産めるだろうか」という不安を抱え過ぎられるカップルは、少なくありません。

胎児に染色体の病気があるかどうか妊婦さんの血液から推定するスクリーニング検査、いわゆる新型出生前検査（以下「NIPT」と略します）が2013年4月から臨床研究として実施され6年が経過しました。精度の高い「NIPT」は、侵襲なく手軽に受けられるといった側面が強調され希望者が増加しています。一方で、さまざまな課題も指摘されており、特に正しい遺伝カウンセリングが行われているか危惧される無認可施設での受検数が増加している状況です。

なお、去る11月2日（土）に「新型出生前検査（NIPT）の現状と課題」と題し、臨床遺伝専門医 佐佐 正勝先生による研修会を当院で開催しましたので、内容を少し紹介します。

### 【検査について】

- ・妊娠中の母親の血液中には、お腹の中の赤ちゃんの胎盤由来するわずかなDNAが存在します。このDNAを利用して、赤ちゃんの3種類の症候群（染色体疾患）であるかの可能性の有無を調べます。染色体疾患の13トリソミー、18トリソミー、21トリソミー（ダウン症）の3種類です。わずかなDNAを利用するため高額な検査費用（20万円）が必要です。
- ・あくまで精度の高い非確定的検査です。（陽性 ≠ 胎児染色体異常）
- ・陽性となった場合は、次の段階の羊水検査を実施することで確定診断となります。陰性になった場合は、限りなく上記3つの染色体異常がない可能性が高いといえます。（約1万人に1人の確率でハズれることがある。）
- ・年齢により陽性的中率（検査が陽性と出た時に、本当に病気である確率）が変わります。若年の方では検査が陽性でもダウン症でない可能性が高年の方に比べ高くなります。（陽性と出ても半分が正常です。）
- ・臨床研究検査適応となる方は、①高年妊娠（分娩予定日に35歳以上である）②13トリソミー、18トリソミー、21トリソミーを有するお子さんを妊娠、あるいは、分娩したことがある ③赤ちゃんが染色体の変化（13トリソミー、18トリソミー、21トリソミー）をもつ可能性の上昇を指摘されている（超音波検査や血清マーカー検査などで）です。

### 【危惧されていること】

- ・正確に実数は不明ですが、全国的に日本産婦人科学会の認定を受けていない無認可の検査施設が増えています。
- ・無認可施設では十分な遺伝カウンセリングがなされないまま検査が実施される可能性があります。検査を受けるといことは、検査結果によっては難しい課題を抱えることとなります。結果に対する適切な説明や対応がなされないままの方が、増えていることが推測されます。

### 【リプロダクティブライツの観点から】

「遺伝カウンセリング」及び「説明と同意」のもとで行われることが必要です。

- 1) 出生前診断に関する正確な情報を示し、妊婦自身の的確な判断の一助なるようにすること
- 2) 妊婦と真摯に向き合い、妊婦に寄り添うこと



講演の様子

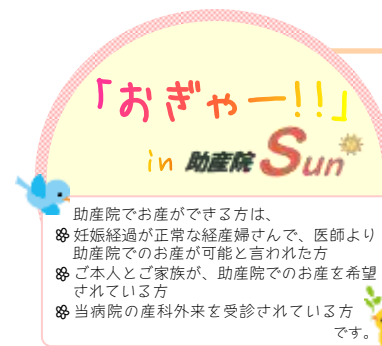
3～5%の赤ちゃんには何らかの異常があります。それも含めて赤ちゃんは授かりものです。

検査は健診のオプションのようなものではありません。

まだ見ぬ赤ちゃんの健康を心配する不安に耳を傾け、「生命の尊厳」「夫婦が熟慮する大切さ」「こどもとの未来のためにどう生きてくのか」カップルで意思決定に寄り添うことが大切で、今後についても注視することが必要とのお話でした。

検査を御希望の方は、まずは、かかりつけの先生（産婦人科医）に御相談ください。

母子保健室 保健師 國廣 千枝



助産院でお産ができる方は、  
 ※妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方  
 ※ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方  
 ※当病院の産科外来を受診されている方です。



院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は8月に出産された常榎ちゃんのお母さんです。



現在の心境をお聞かせ下さい！

2人目で子育てが不安でしたが、退院後から別人のようによく寝てくれて、上の子も赤ちゃんがえりは特になく手伝いもしてくれるので、気持ちに余裕のある子育てが出来て一安心です。



「助産院で出産しよう！」と思われた理由は？

1人目の時、入院生活後半が経過順調だったので助産院で過ごすことになったのですが、すごく静かで助産師さんも優しく丁寧でゆっくり休めたので、同じ病院で産むなら助産院で過ごしたいと思いつめました。



「いざ、お産！」から過ごさせてみていかがでしたか？

おしるしが出て5日目で産まれましたが、前駆陣痛が1人目の時になかった分、これは陣痛なのか？と疑う日々ばかりで、陣痛15分間隔で来て下さいと言われていましたが、最初から10分間隔だったり、お腹の痛みはなく腰だけ痛かったりで不安でした。しかし助産師さんが夜間にも関わらず優しく対応して下さり、6時間かかりましたが親切にいろいろ気遣っていただき、とても心強かったです。上の娘も隣の部屋で寝かせておいたので助かりました。出産時も腰のマッサージや破水を促して下さったり、「頭こごだよ」と進捗状況を教えて下さったので、後半頑張れました。不安だったかみも、主人の手を借りてしっかり力めましたし、傷も裂けましたが治りが早く、傷を塞いでいた金具が外れたらとても楽でした。



助産院でお産をすることで不安な事はありませんでしたか？

分娩台がないので力めるのか、同じ子育てママから「出産時、会陰を切ったり出来ないから裂けるよ」と聞いて、その痛みがどんなものかすごく不安でした。



ご家族の反応はいかがでしたか？

主人は2人目だからと余裕があったようで徹夜になりましたが最後まで付き添ってくれて、産まれたときは一緒に疲れていましたが（笑）、無事に産まれて喜んでいました。上の娘は出産時は隣の部屋で寝ていたので立ち会えませんでした。産まれてきた妹を見てずっと可愛いと頭を撫で、今は頭の匂いを嗅ぐのが日課のようです（笑）



「助産院出産を！」と検討中の皆さんへ、メッセージをお願いします。

助産院は赤ちゃんを預けやすく静かで、産後ゆっくり休めてとてもいいです。助産師さんもとても優しく、2人目であっても授乳の指導や沐浴の指導など忘れていたことも丁寧に教えて下さり、質問もしやすいので安心してお産できる場所だと思います。



### 「常榎 ときか」

主人と私がイニシャルと一緒になので家族みんな一緒にイニシャルに、を最低条件に考え、そのあとは響きや字画、漢字の見た目のバランスなどから今の名前になりました。

ときか  
常榎 ちゃん

令和元年8月4日 生まれ

### 助産院Sunスタッフより

出産前のおしるしが数日間続きましたが分娩経過はとても順調でした。ご主人の応援と見守りの中、素敵なお産に立ち会わせて頂き、私達スタッフも幸せな気持ちになりました。また、こちらに寄られる際にはお顔を見せに来て下さいね。（山本）



### センター稼働状況

分娩数	55件	緊急帝王切開	9件
母体搬送	4件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	1件	MFICU稼働率	97.8%

（令和元年11月）

### 『出発準備中』



by. お飾り隊

### 編集後記

早いもので、今年も『クリスマス』の季節が巡ってきました。サンタさんはクリスマスに向けて出発の準備中（←）です。今年は何が届くかな？2019年もあと少し、これから年末年始と忙しい毎日が続きます。皆さまどうぞご自愛くださいませ。（C.K☆N.S☆Y.M☆K.H.）



周産期センター  
キャラクター  
マミー&メイ